

観光 しらおか

写真：コスモスまつり会場の様子（柴山地区）

第 13 号
平成 21 年 11 月 1 日
白岡町観光協会

白岡町篠津 9 4 4 - 1 3
kanko-shiraoka@abelia.ocn.ne.jp
www13.ocn.ne.jp/~shiraoka/
電話 / F A X 0480-92-8151



協会ブース

第17回白岡まつり
8月1日（土）、第17回白岡まつりが開催されました。当日は過ごしやすいた候で、非常に多くの皆様にご来場いただきました。南中学校ブラスパンド演奏から始まり、舞台イベント、商工まつり、健康まつりなど様々な企画が会場を盛り上げました。
今年も観光協会では主体事務局としての活動に加えて、協会PRとルミカライトの販売を行いました。事業協力スタッフの皆様、一日お疲れ様でした。
まつりの最後を飾った打上花火では約1000発が夜空に綺麗な花を咲かせました。協賛者の皆様、誠にありがとうございました。



舞台イベント

駅からハイキング
8月29日（土）、白岡でJR主催の駅からハイキングが開催され、大変暑い中、1884人の方が散策に訪れました。当協会はコース設定、駅での受付、下野田集会所での麦茶接待、梨の試食等を行い、参加者をもてなしました。
今回のコースは「歴史と梨の町 白岡の社寺仏閣歩き」というテーマで設定されており、白岡らしい魅力を皆様にご堪能していただけたことでしょうか。
白岡まつりは子供から大人まですべての人が楽しめるよう工夫しています。このような催しを通して、町民の皆様と触れあえることを楽しみにしております。



散策を楽しむ参加者

岡産梨の試食コーナー
ご協力いただいた高岩天満神社様、忠恩寺様、正傳寺様、大徳寺様、下野田集会所様ありがとうございます。また、受付、給水、梨試食サービスを協力いただいた事業協力スタッフの皆様お疲れ様でした。



梨試食サービスの様子

他にもたくさんのお祭りが行われています。協会HP・ポスター等でお知らせいたします。



白岡駅西口商店会夏祭り



東伸団地夏祭り（彦兵衛地区）



篠津の天王様

町内の夏まつり
今年も町内各地で様々な夏祭りが行われました。

会員募集中
観光を通したまちづくりに参加しませんか

年会費 1口：1,000円
個人会員 1口以上
個人事業者会員 2口以上
法人会員 6口以上
団体会員 2口以上
賛助会員 2口以上

第3回白岡町観光写真コンテスト 作品募集

主催・問い合わせ：白岡町観光協会
後援：白岡町、白岡町商工会、白岡町文化団体連合会
平成22年2月1日～平成22年2月末日

題材：町内の風景、祭行事等 観光宣伝に適切と思われるもの
活動をしていきます。（11月現在27名が登録）
活動内容は河川周辺のゴミ拾い、河川周辺の花植活動をするための種採り・種蒔き、彼岸花の株分け、自転車による河川見学会、河川の水質調査などです。（およそ月に1回程度）移動手段は自転車などで非常に気持ちが良いと評判です。
興味のある方は事務局までお問い合わせください。



黒沼用水見学会の様子

河川を利用した事業

（川のサポーター）

多くの河川が流れ、9ヶ所の河川立体交差点を持つ白岡町。それを観光資源として活用すべく、当協会では河川を愛するボランティア「川のサポーター」を組織して様々な活動をしていきます。（11月現在27名が登録）
活動内容は河川周辺のゴミ拾い、河川周辺の花植活動をするための種採り・種蒔き、彼岸花の株分け、自転車による河川見学会、河川の水質調査などです。（およそ月に1回程度）移動手段は自転車などで非常に気持ちが良いと評判です。
興味のある方は事務局までお問い合わせください。



我々と一緒に川を楽しみましょう



前回出店の様子
（わんぱく商店街）

農業祭・わんぱく商店街

11月21日（土）、農業祭が味彩センターで開催され、当協会も協力いたします。当日は農業祭本部テントにて協会PR等を行います。また、11月23日（月）、わんぱく商店街が保健センター分館先の都市計画道路予定地で開催され、当協会も出店いたします。多くの皆様のご来店をお待ちしています。

郷のめん処風舎田
明日香



国産小麦100%使用 客席 テーブル16名・和室12名

定休日 毎週火曜日

営業時間 午前11時～午後3時

住所 白岡町下大崎103-1

電話 0480-92-8157

編集後記

主に会員向けに配布していた会報ですが、今回は町民の皆様にも協会の活動を広く知っていただくべく全戸配布としました。

宣伝広報部会

部長 松本利明 特別部会員
副部長 石川哲次 内田信行
副部長 富沢美津代 金子明美
部会長 荒井守行 岸本俊夫
島村富美子 高橋恵子
常見義旭 谷川保蔵
松澤博三
吉川雄二

（有）しらおか味彩センター

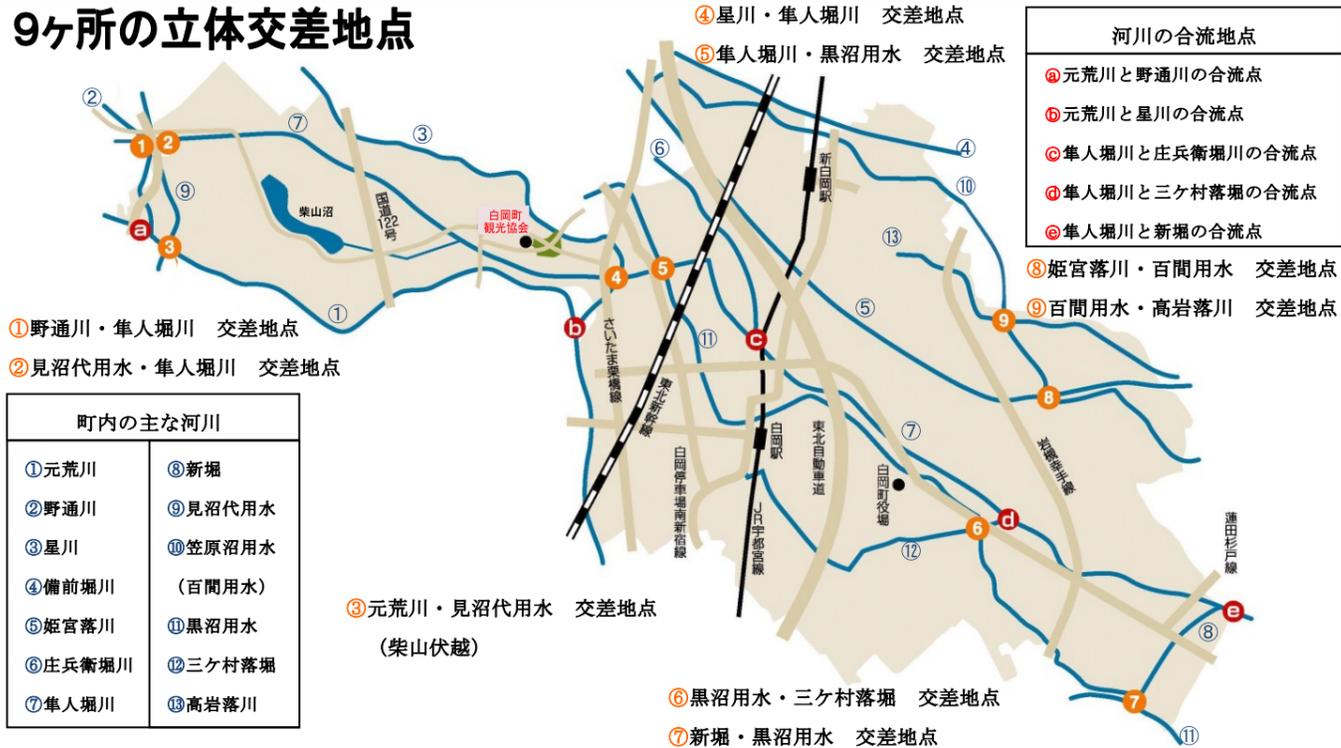
新鮮・安心・安全を食卓に！

町の農家の皆さんが出品している農産物直売所です。生産者の顔が見える安全な野菜、採れたての美味しい新鮮野菜をとり揃えています。

電話/FAX 0480-93-9800



9ヶ所の立体交差点



白岡の河川立体交差点群について

白岡町の現状と歴史を説明する中で、600年前には埼玉県には海があり、それが白岡町の近くにもあったことから、この時代から江戸時代中頃まで低湿地で人の住みにくい土地であったことを説明した。次にこの狭い白岡町に9ヶ所の河川立体交差点が存在するのは以下の3つの理由があるからとの説明をした。

- 1590年、小田原の北条氏が滅んだ時、秀吉が家康に洪水の巣である関東平野への国替を命じたこと
- 江戸時代の初期、江戸湾に流入していた利根川を伊奈忠次が銚子に向かわせたため、利根川から分流し白岡町の中央部を流れていた日川（にかわ）の流量が激減したので、多くの排水用河川を堀削し、日川を新田に替え消滅させたこと
- 江戸中期、八代将軍吉宗が、井澤弥惣兵衛に命じ総延長80kmにも及ぶ見沼代用水を開削させたこと

今後の課題は、このような9ヶ所の河川立体交差点が白岡町に存在する特殊性を町民の皆様が知っていただき、観光

白岡町観光協会 イベント部会長 山本一夫

資源として活用できる様努力を重ねることであると述べた。

これまで、川に対して治水・利水・環境といった切り口で論じる会議は多々あった。しかし、このような「川の立体交差点」という切り口で川を見たのは類を見ない。そして他のパネリストの皆様も一まとめに出来ない多様な内容や問題を持って会議に臨んでくれた。このような会議を繰り返すことで、川に対する新しい文化が生まれて行くものと思われる。

第1回全国川の立体交差点サミット会議 報告会

えっ? 川の立体交差点って何!?

多くの皆様のご来場をお待ちしています

日時 平成21年11月22日(日) 午後2時から午後4時まで(開場午後1時30分)

場所 はびすしらおか会議室3・4・5

発表者 白岡町観光協会 イベント部会長 山本一夫

主催・問い合わせ 白岡町観光協会 (92-8151)

後援 白岡町、白岡町教育委員会、蓮田・白岡地方ユネスコ協会、白岡の歴史を語る会

協会ホームページを是非ご覧ください(検索サイトで「白岡町観光協会」と入力)

観光協会は町民の皆様と共に観光を通じたまちづくりを行う任意の団体です。

第1回 全国川の立体交差点サミット会議

平成21年8月1日(土)、全国で初となるこの会議に当協会から山本イベント部会長がパネリストとして招待され、「白岡町の河川立体交差点群」について発表いたしました。日本の中でも埼玉県には多くの川の立体交差点が存在しており、特に白岡町には5km四方の狭い範囲に9ヶ所も集中していることが、今回のサミット会議に選ばれた理由です。

新川と西川の立体交差(新潟市)

芸術祭出展作品の一例と山本部会長

その芸術祭の一環として、日本では初めての川の立体交差点サミット会議が新潟市で8月1日に開催されました。

サミット会議のプログラム

午前中は篠田昭新潟市長、伊藤孝日本大学理工学部社会交通工学科教授、大熊孝新潟大学名誉教授により「地域の文化と、川の立体交差点」についての討論会が行われました。

篠田新潟市長からは、「日本で初めて川の立体交差点サミット会議を開催することが出来て大変嬉しく思っており、新潟市は昔から市民力が強かったことでこの力をフルに活用することにより、今回の水と土の芸術祭を開催することが出来た。また、新潟市の中に水と土のアート74個を内外の芸術家に創作してもらい、その多くが水辺に置いてあるの興味を引かれた人々が集まってくれば、水に親しむという目的の大方は達せられたと思う。」と語られました。

会場の様子

大熊孝新潟大学名誉教授からは、「昔は街道・鉄道が各地に様々な文化を生んだが、最近の新幹線・高速道路が未だ文化を生み出していないのは、地域住民を巻き込みその力を利用していかないからである。」との話がありました。

伊藤孝日本大学理工学部教授からは、「川の立体交差点は外国、特にヨーロッパに多い。しかしそれは普通の川と運河橋との立体交差点で、日本のように普通の川と用水あるいは排水用河川との立体交差点はやはり水田を中心とした日本独自の文化によるものである。」との話がありました。

午後は全国から5県のパネリストがそれぞれの川の立体交差点の特徴と現在抱えている問題点あるいは今後の課題について発表しました。

① 通潤橋
熊本県の通潤橋は国の重要文化財として指定されており、多くの観光客が訪れるが、それを管理している土地改良区にはほとんどお金が落ちない。今後これをどのように維持・管理し、後世に伝えていくかが課題である。

② 田川カルバート
滋賀県の田川カルバートは

他県のパネリスト

本田陽一氏 (熊本県 通潤地区土地改良区理事長)
山内健次氏 (滋賀県 虎姫町長)
伊藤正博氏 (愛知県 堀川文化探検隊)
山岸俊男氏 (新潟県 越後新川まちおこしの会世話人)

大雨による浸水の被害を被っていた虎姫町の水害問題を解決するために作られた。

③ 矢田川伏越
愛知県の矢田川伏越は名古屋城のお堀に水を供給するため庄内川から取水し、御用水が矢田川を伏越で越えたため、河川の立体交差点が出現した。汚れた堀川の浄化をどのように行っていくかが課題である。

④ 新川と西川の立体交差
低湿地の新潟平野の排水を行うため、新川を堀削し、日本海に排水したため生じたものである。両川とも排水用の河川であるため、流量が決まにくく、その維持・管理には江戸時代を通して苦しんでいた。今後の課題はこの河川立体交差の意義や歴史について地元の人々により多く知ってもらうことである。